

みえライフイノベーション総合特区における 研究開発支援拠点 (Mie LIP) の活動が始まります!!

1 MieLIP鈴鹿

(鈴鹿医療科学大学白子キャンパス)

- ① 医療機器や介護支援ロボット (ロボットスーツHAL等) や周辺機器等の研究開発
- ② 大学の研究機能を活用した医薬品や機能性食品の開発 等

2 MieLIP津

(三重県工業研究所)

- ① 医療機器・福祉用具製造企業の技術支援
- ② 機能性食品の開発
- ③ 医薬品や化粧品等の開発 等

3 MieLIP伊賀

(三重大学伊賀研究拠点)

- ① 医薬品や医療機器等の共同研究・技術支援
- ② 栄養強化食品による病態別栄養療法 (がん、糖尿病や腎疾患等) プログラムの開発 等

この先進的な医薬品や医療機器等の開発環境は、全世界に向けて提供することも可能です。

MieLIPセントラルと6つの地域拠点が連携することによって、画期的な医薬品や医療機器等を創出します。

MieLIPセントラル(三重大学)

医療情報データベースの活用や研究開発を支援、地域拠点の活動支援

統合型医療情報データベース
研究開発コーディネート

医療情報の収集 県内医療機関

4 MieLIP多気

(多気町役場)

- ① 自転車を活用した運動療法や観光資源を利用した運動療法の開発
- ② 歩数計・血圧計等のバイタルサインによる健康管理システムの開発 等

5 MieLIP鳥羽

(鳥羽市役所)

- ① 天然資源を活用した医薬品、化粧品や機能性食品等の開発
- ② 海藻 (真珠の海七草、ワカメ・ヒジキ等) や海産物の研究開発 等

6 MieLIP尾鷲

(尾鷲市役所)

- ① 海洋深層水や尾鷲ヒノキ等を活用した化粧品や機能性食品の開発
- ② 高血圧や糖尿病等の臨床研究の推進
- ③ 滞在型健康回復・健康増進プログラム開発 等

MieLIP:研究開発支援拠点である、みえライフイノベーション推進センター (Mie Life InnovationPromotion Center)

Mie LIP 3 拠点 (尾鷲・鳥羽・多気) 連携の 推進に取り組んでいます!

現在、Mie LIP 3 拠点 (尾鷲・鳥羽・多気) では、連携研究会を立ち上げる構想が持ち上がっています。そこで、連携することを提案された尾鷲市役所市長公室の奥村室長、北村さん、濱口さんに、Mie LIP 3 拠点の連携構想についてお話を伺いました。

- 海洋深層水やヒノキなどの天然資源を活用した化粧品等の開発
- 熊野古道を活用した運動プログラムの開発

尾鷲



尾鷲・鳥羽・多気の3拠点は、活動の内容において、地域資源や人材の活用、ヘルスツーリズムなどといった方向性が共通し、それぞれが持つ特色を活かした連携は可能であると考えてます。



情報の共有を連携して行うことにより、それぞれの地域の魅力を理解し合うことができます。その魅力を外部発信していくことで、観光客の誘致や滞在時間の延長、地域活性化だけでなく、健康増進にも努めたいです。

多気

- 自転車を活用した運動療法
- 県立相可高校とのコラボレーション
- 伊勢芋などの天然資源を活用した食品や化粧品等の開発



鳥羽

- 海藻や真珠などの天然資源を活用した医薬品等の開発
- 地元食材を活かした食事療法や、旅館・浴場などを活用したリラックスプログラム開発



北村さん (左)、濱口さん (右)

MieLIP鈴鹿、伊賀でも活動が始まっています!

鈴鹿

鈴鹿市では、Mie LIP鈴鹿内 (鈴鹿医療科学大学に設置) にあるロボットスーツの先進的プログラムを活用し、訓練を行った際の支援をするなど、Mie LIP鈴鹿が目指す医療機器や介護ロボット及びその周辺機器等の研究開発、リハビリテーション手技の開発など一体となった取組を進めています。



Prof.Shihoko University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

伊賀

上野総合市民病院では、MieLIP伊賀 (三重大学伊賀研究拠点に設置) を中心に、三重大学や国内外企業等と連携し、新たな医薬品、高機能食品、看護・介護機器、緩和ケアサービスや免疫栄養療法システム等の開発、在宅支援サービス等に取り組むことで、地域医療・福祉に貢献する全国に先駆けたモデルケースをめざし活動を始めています。



三重県が平成25年度に実施する事業

「みえライフイノベーション総合特区」における取組の推進

①みえライフイノベーション総合特区基盤整備事業

県内産学官民関係組織と連携して、総合特区の効果的な推進を図ります。また、国内外の企業等への本特区のPR活動や海外連携、広域連携に取り組むことで、本特区への企業等の参画を促進し、取組の充実・強化を図ります。

【特区の運営】新規事業

みえライフイノベーション推進センター (MieLIP) 7拠点の活動支援、特区計画の追加内容 (規制緩和措置等) の検討および国との協議の実施。

【戦略的PR活動】新規事業

本特区への企業等の参加促進を図るため、国内外の企業・研究機関等の訪問や国際展示会参加等による戦略的PR活動の実施。

【海外連携、広域連携】新規事業

国内外の企業・行政機関等との連携や、中部圏等の広域的なプロジェクトへの参画。



②みえライフイノベーション総合特区促進プロジェクト事業

企業等の競争力を強化するため、技術力があり、製品開発の意欲が高い事業者に対し、製品開発の支援を行います。また、新たな産業創出の可能性調査を実施し、今後の戦略的な製品化支援事業の分野を拡大します。

【地域資源活用型医薬品等開発促進事業】

地域資源を活用した医薬品等開発事業者に対し、研究や技術支援、試作品製作費用の補助、販路拡大等、総合的に支援。



【医療・福祉機器等製品化促進事業】

医療・福祉機器等の製品化を進める事業者に対し、ニーズの提供、マッチングや試作品製作費用の補助等、総合的に支援。



【新産業創出支援事業】新規事業

生薬の栽培技術や医薬品原料としての供給など「薬」と「農」が連携した産業化や、在宅介護、在宅医療、健康増進プログラム等、医療・健康・福祉分野での新たな産業化の可能性を調査し、事業化を推進。

③メディカルバレー産学官民連携事業

「みえメディカルバレー構想」を推進する産学官民で構成する代表者会議などを運営し、産学官民連携体制の強化や各々が実施する事業の推進を図ります。また、メディカルバレー通信やメールマガジンの発行、ホームページの運営により、関係者や県民に豊富な情報を提供します。

④メディカルバレー緊急雇用創出事業

今後の成長が見込まれる医療・健康・福祉分野の先進的技術や画期的な製品を展示・実演、体験等により広く県民、医療・健康・福祉分野の関係者、事業者にも普及啓発することで、この分野における産業振興をさらに推進します。